

全十勝春季高校バドミントン

全6試合 隙与えず

【幕別・芽室】バドミントンの小純純杯争奪第11回全十勝春季大会兼第76回国体道大会の部十勝地区予選会(十勝バドミントン協会主催)の第1、2日が17、18の両日、札内スポーツセンターと芽室町総合体育館で行われた。男子シングルス1部は池田侑輝(帯大谷3年)が優勝。2年前の第9回に続き頂点に立った(昨年の第10回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。女子は濱下亜美(同2



【男子シングルス1部・決勝】帯大谷の池田侑輝は第2ゲーム、力強いスマッシュをコースに決めて2-3と追い上げる

年)が制し、藤野屋香凛(同3年)と組んだダブルス(複)との2冠を達成した。男子複1部は瀨藤智史・廣瀬大城組(同2年)が優勝した。最終日は24日、札内スポーツセンターで2部の単を実施する。1部男女各上位5位と、推薦選手の男子複の池田侑輝・岩間琉哉組(同3年)、宇佐見悠・宇佐見慧組(同同)、単の砂原泰斗(同同)は国体道予選会(6月7-9日、苫小牧市)に出場する。(北雅貴)

粘り強く快進撃 瀨藤・廣瀬組

○：男子複1部は瀨藤智史・廣瀬大城組が快進撃を見せた。3回戦で「これまで勝てていなかった」(廣瀬)第4シードの池田泰輔・山田都月組(帯三条3年)に2-1で競り勝ち、準決勝は第1シードの越川匠・高橋史政組(帯柏葉2年)を撃破した。決勝は第3シードの関根一誠・及川令穂組(帯工3年)に前半に競り合ったものの、中盤での連続ポイントで抜け出した。得意のドライブで押し込み速い展開に持ち込み、優位に立った。守備でも粘り強さを発揮。瀨藤は相手に打ち込まれても冷静にレシーブできた。と振り返った。強い先輩たちと部内で競い合うことで、速いタッチに磨きを掛け、着実に力を伸ばしてきた。国体道予選会(帯工3年)は、決勝戦で廣瀬は「後ろからのアタック力がなければ通用しない」と気を引き締めていた。

集中途切れず 及川・関根組 ○：相手の低く速い展開に乗っかって、押し込まれた。男子複1部準優勝の及川令穂・関根一誠組(帯工3年)は、決勝戦で廣瀬は「後ろからのアタック力がなければ通用しない」と気を引き締めていた。

【男子ダブルス1部・決勝】息の合った速い動きで初優勝を果たした帯大谷の廣瀬大城(左奥)と瀨藤智史組

池田貫禄V

帯大谷3年

男子単

第1シードの池田侑輝が貫禄を見た。全国高校選抜大会北海道予選会3位のチームメイト、砂原泰斗が推薦選手として免除された今大会、北海道8強の池田は奮起するわけにはいかなかった。全6試合とも盤石の試合運びで完勝した。決勝でもカッパをコートに決め、ドロップをネット際に落とし、揺るぎなく、返球を力強いスマッシュで打ち込んだ。ネット近くのヘアピンやプッシュを繰り返してコート奥に追いやり、フェイントでかわたりと軟らかい羽根を混ぜたりするなど自由自在な相手に付け入る隙を与えなかった。

走り込み強化「スピード上げたい」

間琉哉と組んだ復て池田自身4度目の大舞台となった今年3月下旬の全国高校選抜大会は、ベスト8入りの相手に1回戦でストレート負け。同大会や全国の強豪校の選手が集まった会場でフットワークの重要性を痛感した。以降は日頃の練習で意識し、さらに自主練習で走り込み、脚力の強化を図っている最中だ。「これまでは手先でシャトルを拾いに行っていたが、今は足をしっかりと動かしている。頭では分かっていたができなかった。大変だが案をせず、嫌がらずにできるようにしたい」と話す。

濱下单複2冠

スマッシュに威力

女子は濱下亜美が昨年11月の全十勝高校新人選手権に続き単複2冠を達成した。単は準決勝で、帯一中時のチームメイトの内田千晴(帯三条3年)と対戦。第1ゲームはあっさり奪ったものの、第2ゲームは接戦。18-19とリードされたが、平常心を保った。「気



女子ダブルス1部で初優勝を飾った帯大谷の藤野屋香凛(奥)・濱下亜美組。藤野屋は大けがから本格復帰し、濱下はシングルスと合わせて2冠を達成した

頼りになる主将が本格復帰。帯大谷女子の藤野屋香凛は、1部複でうれしい初優勝を果たした。昨年6月に左膝の前十字靭帯(じんたい)断裂と半月板損傷の大けがを負い手術をした。リハビリに励んだが、11月に靭帯が再断裂。その後は保存療法を選択。膝の筋肉を鍛えるなどのトレーニングにも励んだ。現在は仲間と別メニュー。「リハビリが中心で、実戦的な練習には参加できない状態。当初は悔しい」と目を輝かせた。

決勝は焦りで気持ち空回り 上野・佐藤組 ○：女子1部複は上野綾佳・佐藤柚夕(ゆずゆ組(帯大谷3年)が準優勝した。決勝は気持ち空回り。勝ちを意識するあまり、左膝は「決めたい」とコートの端を狙い過ぎたり、ラリー中に焦って先にミスをした。と反省した。

藤野屋 大けがから本格復帰 とうらさがあつたが、今は受け入れられている。「精神的に鍛えられた。プレー中でも苦しい時に我慢できるようになった。何よりもバドミントンができることに感謝」と笑う。

グリフィス一番時計

ばんえい能力検査 5月デビューへ



ばんえい十勝は18日、帯広競馬場で今季デビューを目前にする新馬の第1回能力検査を行い、2歳のグリフィス(牡)松井浩文調教師の藤野後一騎手、生産者はオホツク管内訓子府町の岩と藤野後一騎手

Table with 2 columns: 男子 and 女子. Lists names and scores for various badminton matches.

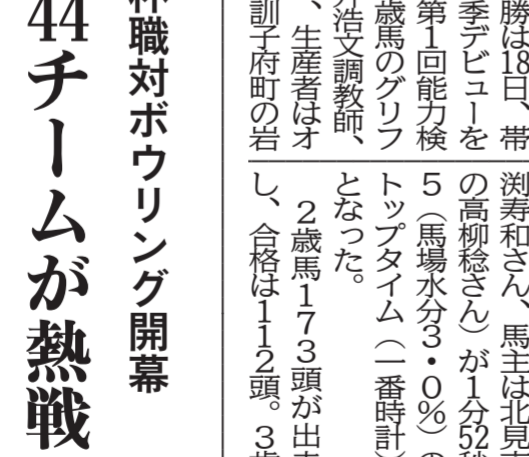
Table with 2 columns: 男子 and 女子. Lists names and scores for various badminton matches.

Table with 2 columns: 男子 and 女子. Lists names and scores for various badminton matches.

Table with 2 columns: 男子 and 女子. Lists names and scores for various badminton matches.

44チームが熱戦

勝毎杯職対ボウリング開幕



ボウリングの十勝毎日新聞社杯争奪第95回全帯広職対抗大会「十勝毎日新聞社主催」が19日、帯広スポーツホールで開幕した。44チームが出場し、24日まで熱戦を繰り広げる。

選手宣誓する鉄建Aの

永田飛鳥選手



試合に先立ち行われた開会式では、選手を代表して鉄建Aの永田飛鳥選手が「コロナ禍の中、大会を開

Table with 2 columns: 男子 and 女子. Lists names and scores for various badminton matches.